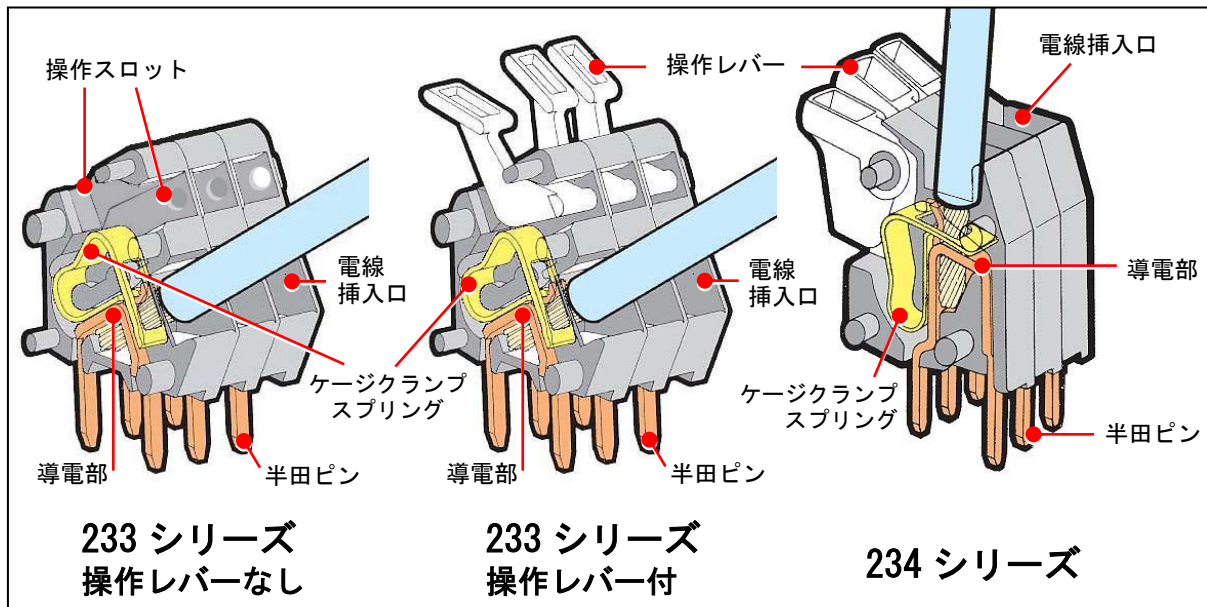


# 結線作業説明書

## ●プリント基板用端子 233、234 シリーズ

■構造 端子台の構造及び各部の名称を下図に示す。



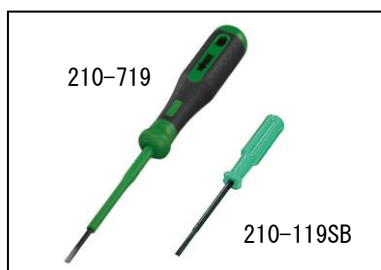
■使用工具 必ず正しい工具をご使用ください。



①専用操作工具（操作レバーなし用）

233-332 ..... プラスチック製（絶縁）

233-335 ..... 金属製シャフト



②専用ドライバ（推奨）

210-719 ..... 標準タイプ

210-119SB ..... ミニタイプ

（刃先：2.5x0.4mm）



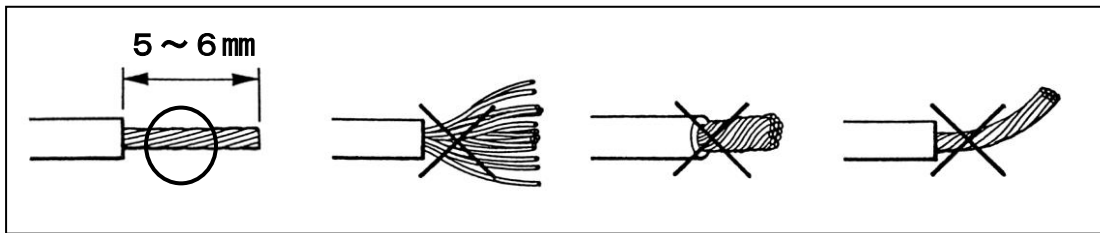
③ワイヤストリッパ（推奨）

ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用ください。

206-1125（クイックストリッパバリオ）

...電線の切断と皮むきが一台で行えます。

■電線のむき出し ○必ず規定のむき長さを守ってむき出してください。



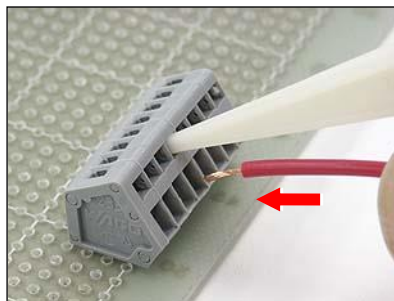
■結線作業 ○下図に従って作業してください。

※原則として1つのクランピングユニットには1本の電線を接続してください。  
(JIS 9960-1 (IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による。)

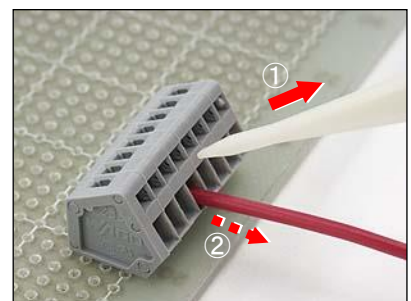
● 233 シリーズ 操作レバーなしの場合 - 専用工具による作業方法



①専用工具を操作作用スロットに差し込みます。正しく差し込めば専用工具は保持されます。



②正しくむき出した電線を電線挿入口に突き当たるまで差し込みます。



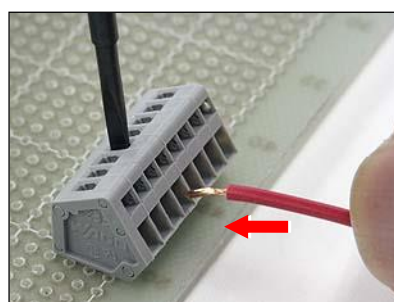
③電線を押しさえたまま、専用工具を抜いてください。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください。)

※離線作業 ○結線作業と同様に専用工具を差し込むと、電線を取り外せます。

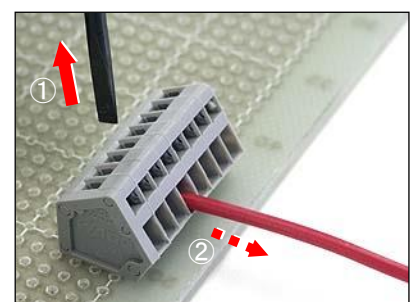
● 233 シリーズ 操作レバーなしの場合 - ドライバによる作業方法



①ドライバを操作作用スロットに入れ、スプリングを押し下げて保持します。



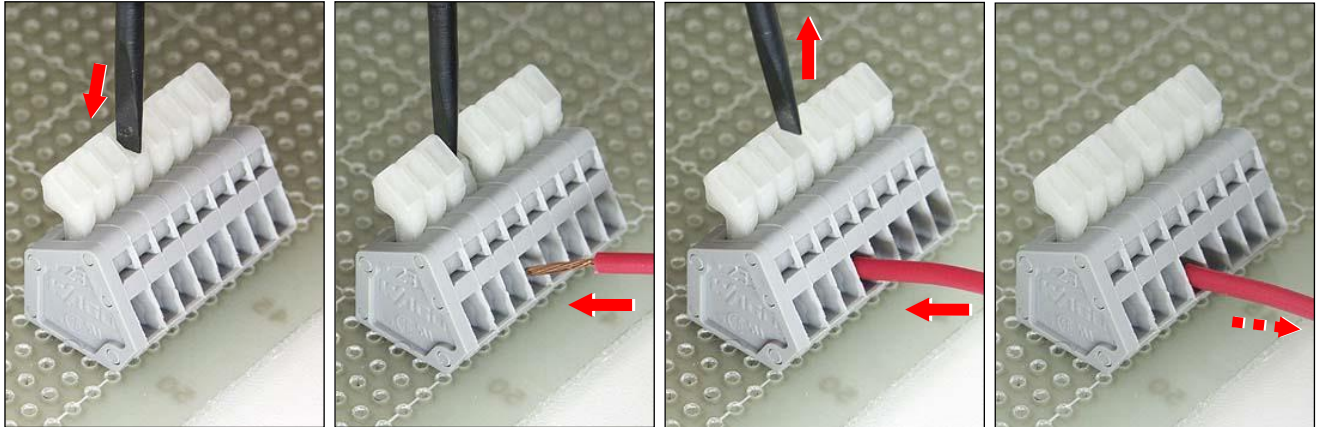
②ドライバでスプリングを押し下げたまま、正しくむき出した電線を電線挿入口に突き当たるまで差し込みます。



③電線を押しさえたまま、ドライバを離してください。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください。)

※離線作業 ○結線作業と同様にドライバでスプリングを押し下げて電線を取り外せます。

### ● 233 シリーズ 操作レバー付きの場合



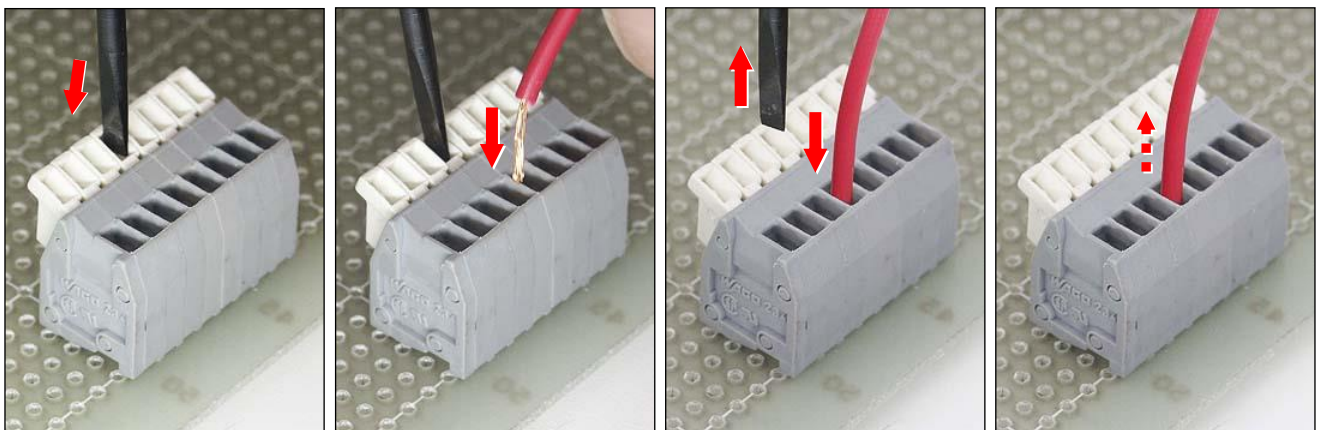
- ① ドライバを操作用レバーのスリットに押し当て、レバーがハウジングにつきあたるまで押します。
- ② 正しくむき出した電線を電線挿入口に差込みます。
- ③ 電線が奥に突き当たるまで差し込んだ後、電線を押えたままドライバを放してください。
- ④ 確認のため、電線を軽く引張ってください。(強く引っ張らないでください。)

#### 注意：

レバー操作はゆっくり行ってください。レバーが止まり位置に達したらそれ以上は押さないでください。無理な力を加えると端子台が破損するおそれがあります。

※離線作業 ○結線作業と同様にレバーを操作すると、電線を取り外せます。

### ● 234 シリーズの場合



- ① ドライバを操作用レバーのスリットに押し当て、レバーがハウジングにつきあたるまで押します。
- ② 正しくむき出した電線を電線挿入口に差込みます。
- ③ 電線が奥に突き当たるまで差し込んだ後、電線を押えたままドライバを放してください。
- ④ 確認のため、電線を軽く引張ってください。(強く引っ張らないでください。)

#### 注意：

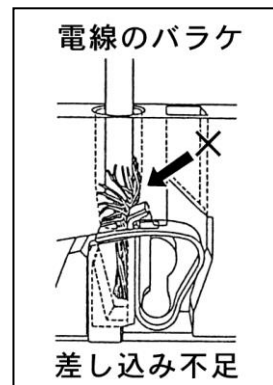
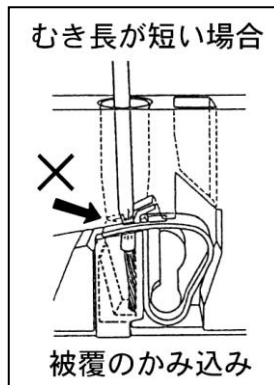
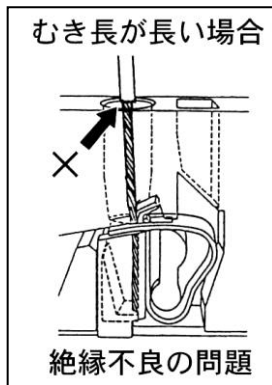
レバー操作はゆっくり行ってください。レバーが止まり位置に達したらそれ以上は押さないでください。無理な力を加えると端子台が破損するおそれがあります。

※離線作業 ○結線作業と同様にレバーを操作すると、電線を取り外せます

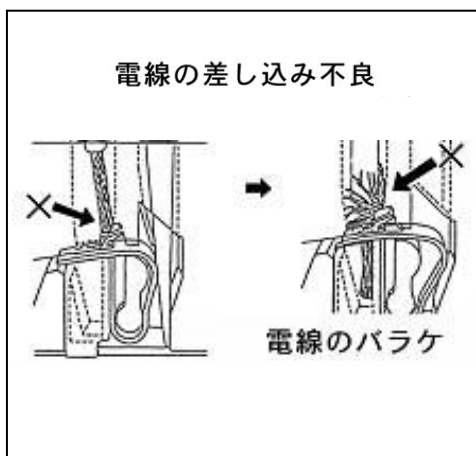
■作業上の注意事項

①電線のむき長さは、必ず守ってください。

②電線のバラケに注意してください。



③電線は正しく挿入してください。



④電線被覆のかみ込みに注意してください。

